

配置図兼平面図 1:50

特記なき限り  
鉄筋コンクリート壁(躯体)厚さ150  
内外吹付30

コンセプト

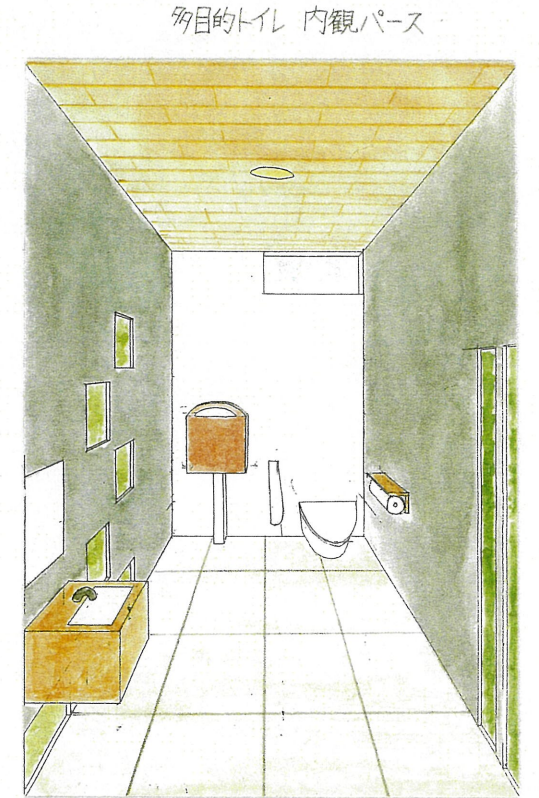
私は、「落ちつけるトイレ」をコンセプトにこのトイレを設計しました。屋外にあるトイレは暗いイメージがあり、なかなか入りづらいと思います。そこで北・南面の天井付近に開口部を設け採光ができるようにしました。また通気口としても使え、天井付近に空気がたまりないようにしました。窓ガラスを緑色にし、外から光が入ると目に優しい緑色の光になって過ごしやすいです。屋根に植物が植えられるようにしました。そうすることによって屋根にネットをかけることでグリーンカーテンができて、東・西面の夏の日差しを遮断することができます。涼しく過ごすことができます。内観では天井に木の板を貼り、緑のガラスを設置することで全体的にさわやかな雰囲気になるようにしました。

面積表

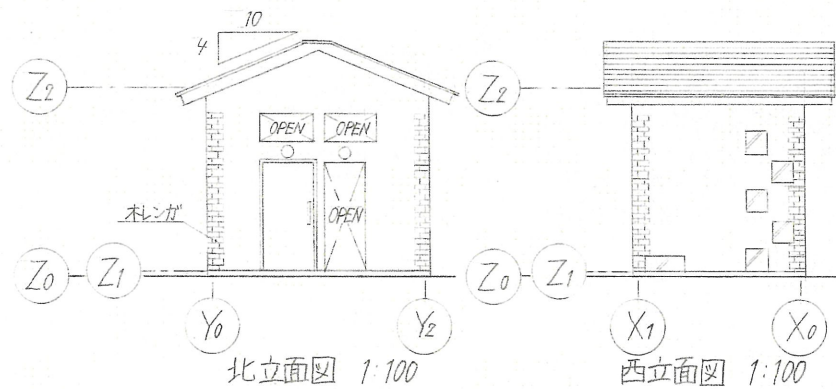
面積種類	計算式(単位m)	計
敷地面積		57.5m
建築面積	3×4	12㎡
延床面積	3×4	12㎡
建ぺい率	12÷57.5×100	20.87%
容積率	12÷57.5×100	20.87%



外観パース

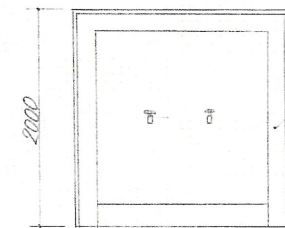


多目的トイレ 内観パース



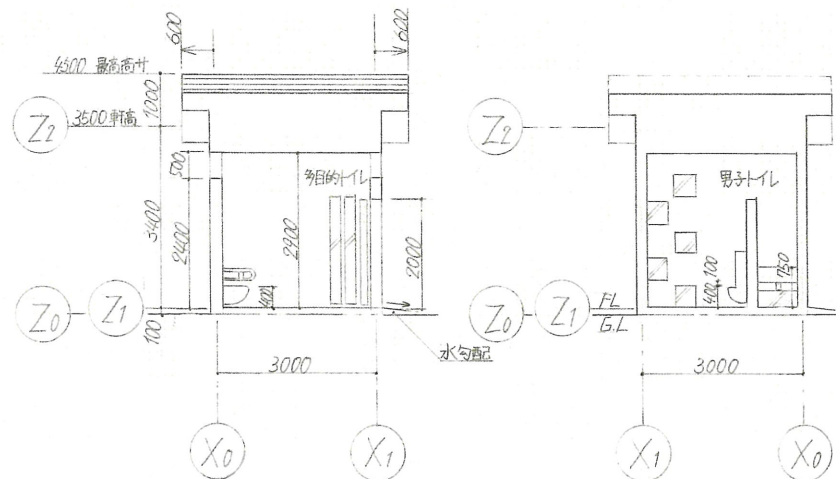
北立面図 1:100

西立面図 1:100



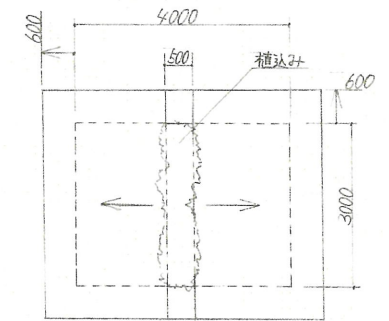
目隠し壁兼手洗い 1:50

目隠し壁の用途だけではなく手洗い場としても使えるようにしました。また、水受けの部分を大きくし、足洗い場としても使えるようにしました。ただの壁にするのではなく緑のスタンドグラスを入れ、圧迫感を軽減させたいようにしました。

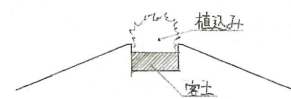


A-A断面図 1:100

B-B断面図 1:100



屋根状図 1:100



屋根断面図 1:50

屋根の棟部分を平担にし、植え込みをしました。そうすることで建物内の温度も下がるため、暑い夏でも涼しく過ごせます。また、建物の劣化も防ぐことができ、長く利用できます。